

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日 令和8年2月1日

事業所名 ことばはうすくら 名古屋緑教室 保護者等数(児童数) 33名 回収数

28件(割合84%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27				1 十分なスペースがあると思う	怪我や危険を回避できるよう職員を十分に配置し対応してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1			1 子どもたちに目がい働いているので適切だと思う	1人ひとりに合った支援ができるよう今後も継続して参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1			空間に物がごちゃごちゃしておらずスッキリしている。教室がとても広く、おもちゃも充実している。	見通しが立ちやすく安心して過ごすことが出来るよう視覚的な支援も引き続き行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28				広くきれいで部屋も仕切られており過ごしやすそう。	換気や消毒等定期的に行うことで安心してご利用いただけるよう環境を整えてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2			個々に合わせて対応してくれていると思う。	楽しい場所であるために日々努力を行っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1			STの先生も在籍しており、協力して支援してもらっている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28				モニタリングをしっかりと行っ上で計画を作成してもらっている。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1			休みの日などお出かけやプログラムがしっかりしており子どもがあきない工夫がされている。長期休みのお出かけ、助かります。月のプログラムが毎日決まってお楽しみにして活動に参加している。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	5	4	12		地域のお祭りへの参加など地域で過ごす中でのインクルージョンを目指し取り組んでいます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	2	1			より丁寧に説明を行っていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	3	1	6	夏祭イベントがあり家族で参加でき、良い思い出となりました。	現在、年1回程度のご家族参加の行事を定期的に行うことが出来るよう検討しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	28				送迎時など日々の様子が伝えられているため共通認識が覆かれていると思う。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28				とても良くみてくれていて感謝している。	

18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	2	3	7	父母会や保護者会等の開催は行っていませんが、夏祭りや親子遠足等ご家族で参加していただけるようなイベントを行っています。今後も定期的に開催できるよう企画して参ります。
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	2			相談するとすぐに対応してくれている。

20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27				1 送迎の際やモニタリングの際に様子を教えてもらい相談にも乗ってもらっている。	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	1		1	新聞を楽しみにして子どもと一緒に見ている。 Instagramでは更新頻度を上げ日々の活動や子どもたちの様子をご覧いただけるよう発信しております。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27				1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25			3	ご利用者様への周知はされていないため改めて書面にて提示していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	1		1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25			3	ご利用者様への周知はされていないため改めて書面にて提示していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			8	事故や怪我等詳細をすぐに保護者様に報告し対応を取っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28				一番好きなデバイスでお迎えに来ると喜んでくれる。 本人がニコニコしているので安心して預けることが出来ている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	1			とても手厚く見てくれているので安心して通所させることが出来ている。 事業所の絵カードとかバンを持って嬉しそうにしている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28				PECSなどの相談にも乗って頂き、いろいろな工作やクッキング等もあり充実している。

公表日

令和 8 年 2 月 1 日

事業所名

こぼんはうすくら 名古屋緑教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		必要に応じてパーティションを使うなど、過ごしやすい空間づくりをしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	4		2(こども) : 1(職員)で対応しているが、曜日によっては個別で対応しなければならないことが多く、足りなく感じているのが実態。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		絵カードを用いてマッチング等を行っている。	室内が広いこともあり落ち着かない利用者もいるのが実態。 全ての特性に合わせるの難しを感じる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		掃除チェック表を確認し、毎日掃除している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		必要に応じて使用している。	
業務 改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	1		全職員が把握できるような携帯アプリでの伝達や方法を検討していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	4		こぼんはうすくら本部の方が教室や書類等見て頂いている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11			
適切 な支 援の 提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1		専門的な支援に対しては個人で受け持つことも有るためフォローできる体制を整えていく。
18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11				
適 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1		問題点やヒヤリハットなど重要事項は携帯アプリを使うなどで休日の職員にも共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			

切 な 支 援 の 提 供	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	11			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	5		今のところできていない。 小学校連携の中で活動に繋げて行けたらいいと思っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			ベアトレ・ベアプロ、その他家庭支援を模索中である。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	5		なかなかできていないが、緑区の祭りに参加するなど少しずつ地域との連携を図るよう行動している。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			行っているが、より具体的な訓練を行う必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		新規の契約の際には保護者様より十分な聞き取りを行い支援会議にて全職員に周知している。	見落としが無いよう定期的に伝達を行っていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		食事、おやつの際には別のテーブルを用意する等の対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1(わからない)		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1(わからない)	業務日誌にひも付けをして全職員が確認出来るようにし、対策まで行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1(わからない)	全職員が研修を受け、共通認識のもと対応している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		支援計画に一文を記載し、更新のたびに承諾を得ている。	